

## 企画展

# 武蔵野市の歴史と文化財

～蕨手刀から凱旋門まで～

このたび開館1周年を記念し、市指定有形文化財である「武蔵野八幡宮の蕨手刀」を武蔵野市で初めて公開することとなりました。このほか市指定有形文化財を中心に、市内に残る同時代の資料(モノ)をあわせ展示・解説しています。身近な地域における文化、歴史について、理解を深めていただければ幸いです。

## ～展示物から～



### 武蔵多摩郡吉祥寺村辰御縄水帳

寛文4年(1664)7月7日/河田家文書

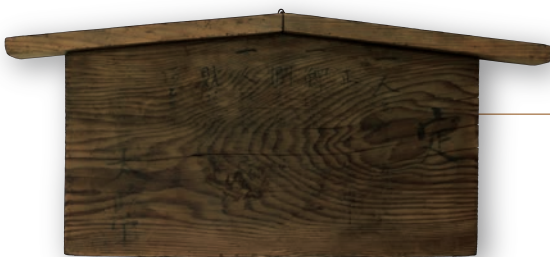
検地帳は、村の石高(生産量)を決めるための、いわゆる土地台帳である。検地帳が作成されて、吉祥寺村が制度的に成立した。



### 妻木頼熊書状

寛文9年(1669)〔推定〕/井口家文書

幕府勘定奉行の妻木頼熊が出した書状(宛先不明)。妻木は、井口八郎右衛門が札野を開発することになったと述べる。武蔵野新田は「野広キ所」だとも述べる。



### 井口家の高札

慶応4年(1868)3月/井口家資料

太政官(明治政府)による「五榜の掲示」のひとつ。五倫の道(君臣の義・父子の親・夫婦の別・長幼の序・朋友の信)を守ること等を説いている。

## 特別講演会「武蔵野と江戸」

講師 中野達哉氏(駒澤大学教授・本市文化財保護委員)

日時 12月23日(水・祝)  
午後1時30分～3時(開場午後1時)

会場 武蔵野ふるさと歴史館・1F市民スペース

定員 50名

往復ハガキ・Eメール・歴史館事務室にてお申込みください。  
※定員を超えた場合は抽選となります  
申込締切 12月7日(月) 必着

## 第11大区4小区西窪村全図

明治8年(1875)/武蔵野市蔵  
※写真展示

明治6年地租改正条例の公布に伴い、作成された絵図。地割を観察すると、昔の地割と現在の地割が似通っていることがわかる。都市化著しい武蔵野市域も、昔ながらの道が残っている。



入館無料/開館時間:午前9時30分～午後5時/休館日:金・土・祝日(11月3日・12月23日は開館)

武蔵野市立 **武蔵野ふるさと歴史館** 武蔵野市境5-15-5  
Tel: 0422-53-1811

http://www.city.musashino.lg.jp/shogaigakushu\_koza/rekishikan/ E-mail: rekishikan@city.musashino.lg.jp  
武蔵境駅より徒歩12分/ムーバス「武蔵野ふるさと歴史館」バス停下車すぐ/駐車スペースはございません(高齢者・車椅子ご利用の方はご相談ください)

